

**事前復興のすすめ
東日本大震災の5年の教訓を踏まえて**

京都大学防災研究所

牧 紀男







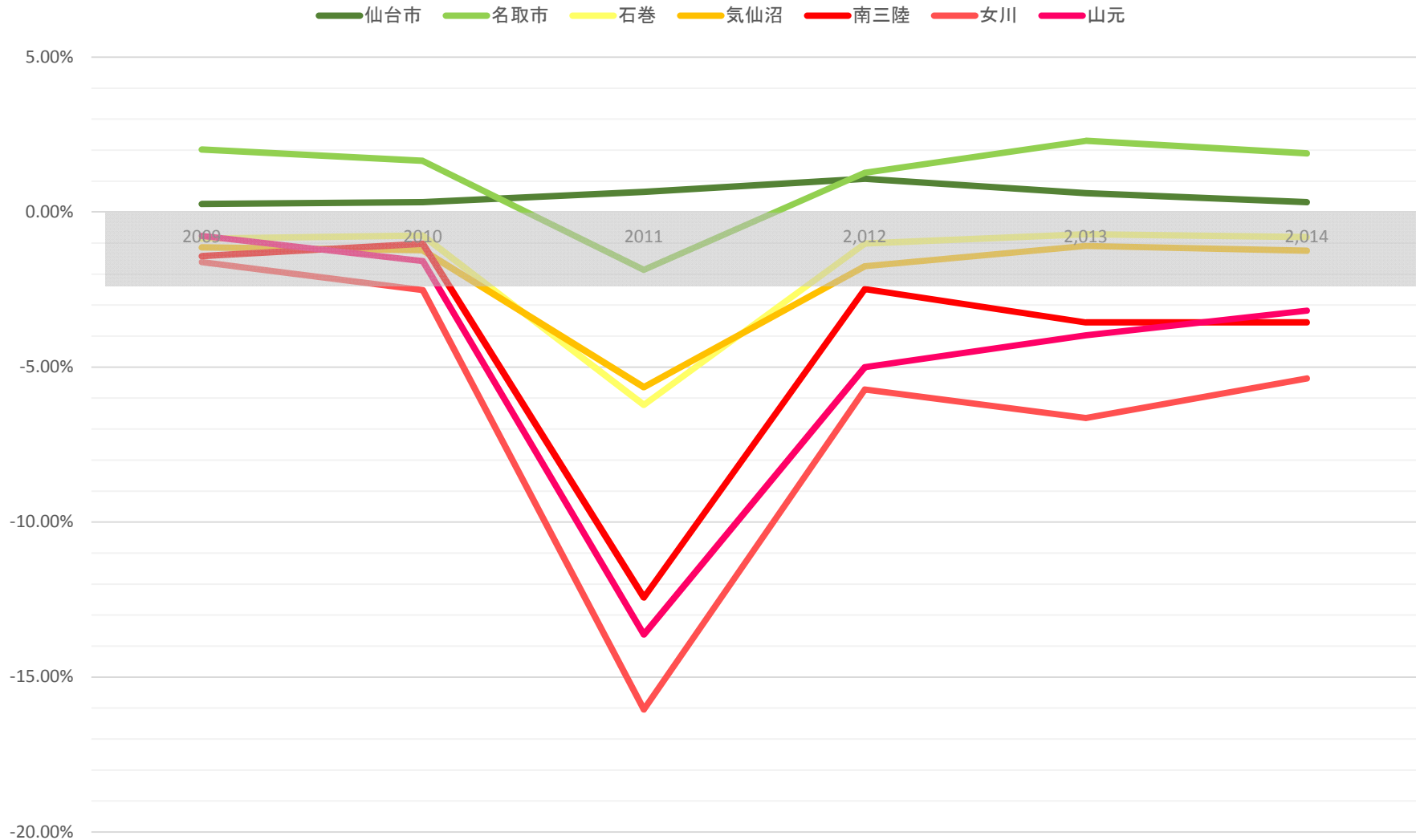






人口変化に3つのパターン

東日本大震災後の人口変化



東日本大震災と阪神・淡路大震災

	東日本大震災	阪神・淡路大震災 ³
地震の規模	M9(Mw)	M7.3(JMA)
死者	15,883人	6434人
建物被害	399,079戸	241,980棟
被災世帯(全半壊)	—	460,356世帯
がれき量 ¹	2,758万トン	2,000万トン
災害廃棄物	1,807万トン	—
津波堆積物	956万トン	—
経済被害額 ²	16兆9千億円	9兆9千億円(兵庫県)
	2013/11/26現在	

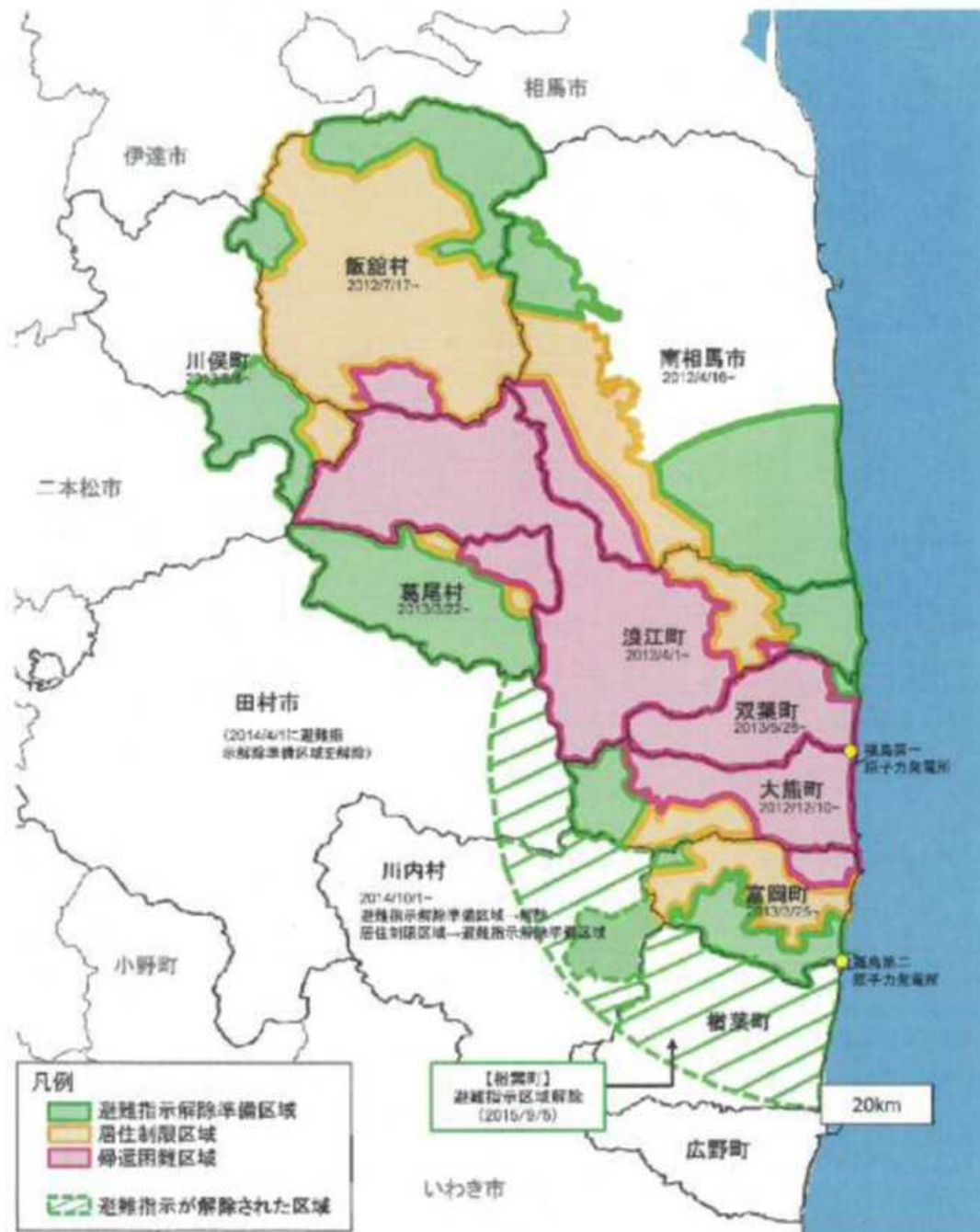
福島は違う

- **初めて経験する事態**
- **先が読めない**
- **納得がいかない**
- **自立することの阻害要因が存在する**

- **火山との類似性**
 - **復興元年を設定する必要がある。**

避難指示区域の概念図

○平成27年9月5日～ 楢葉町 避難指示区域の解除後

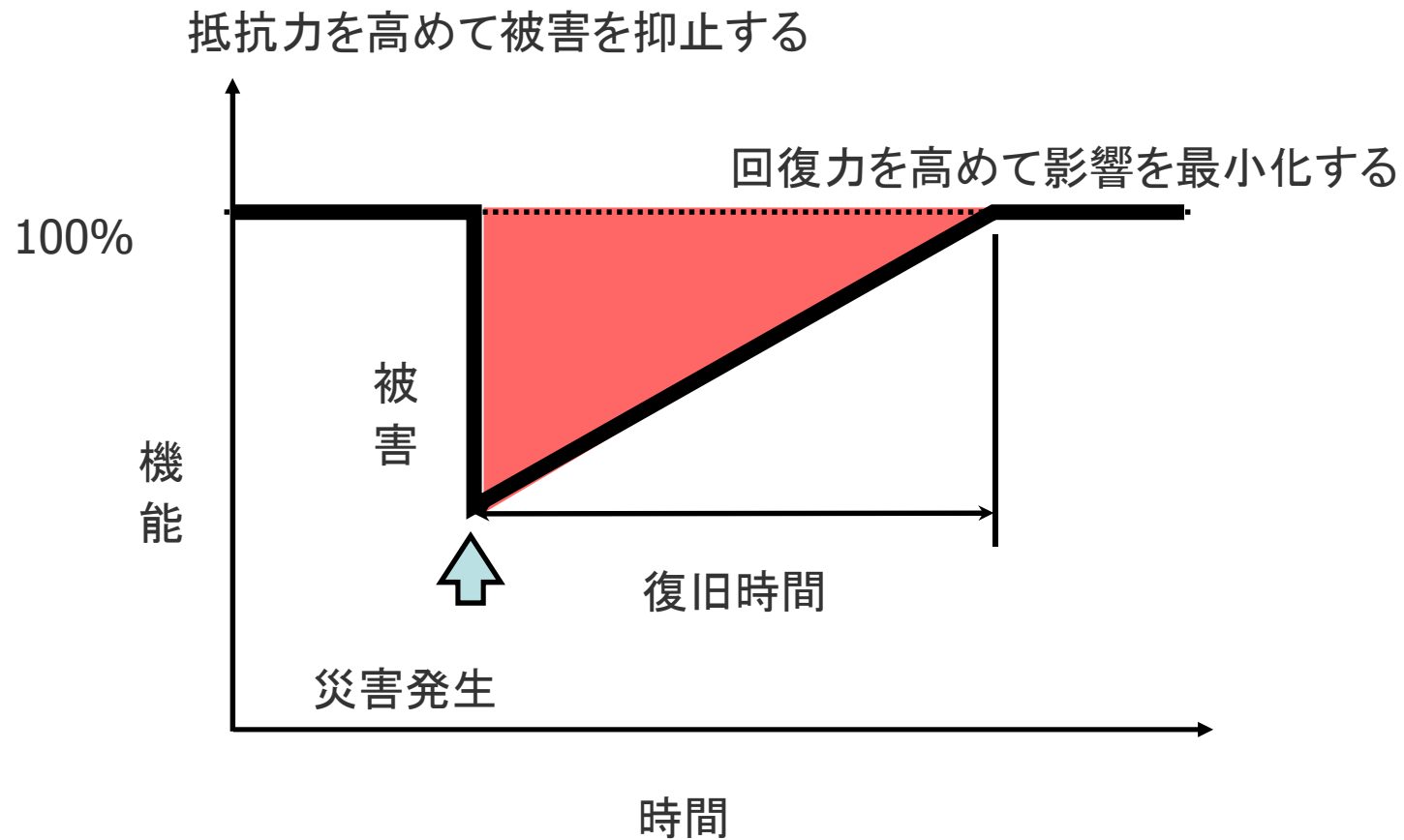


福島

減少要因

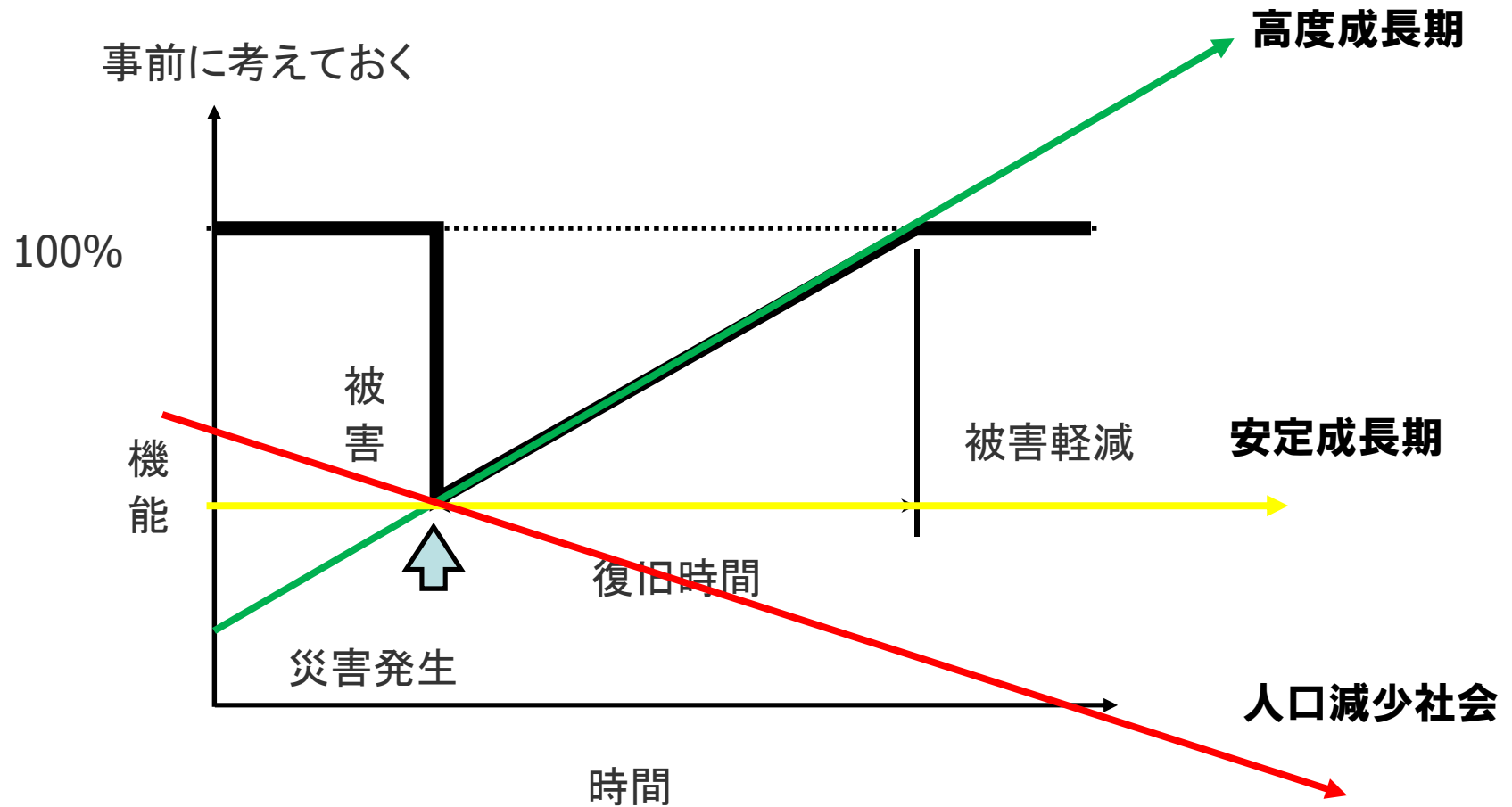


レジリエンス 抵抗力+回復力



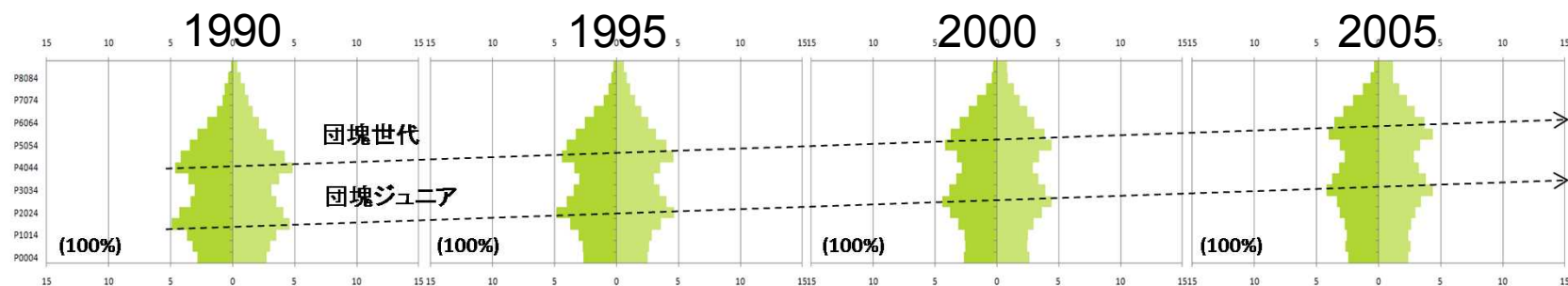
元気な地域だけが復興できる

安定成長、人口減少社会での復興は大変



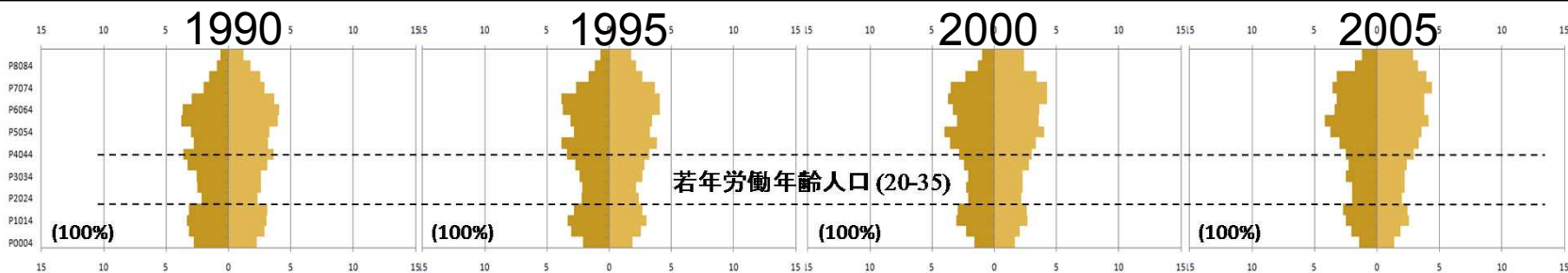
被害＋回復を含めた総合的な災害影響評価

持続 類型



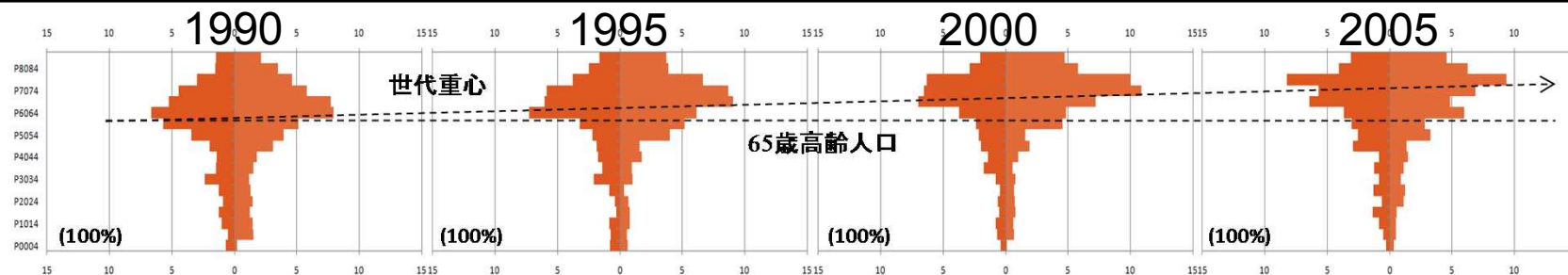
団塊世代と団塊ジュニアが主要な世代群であり若年働きの人口も続けて移入し、継続的に人口増加が見込める地域

依存 類型



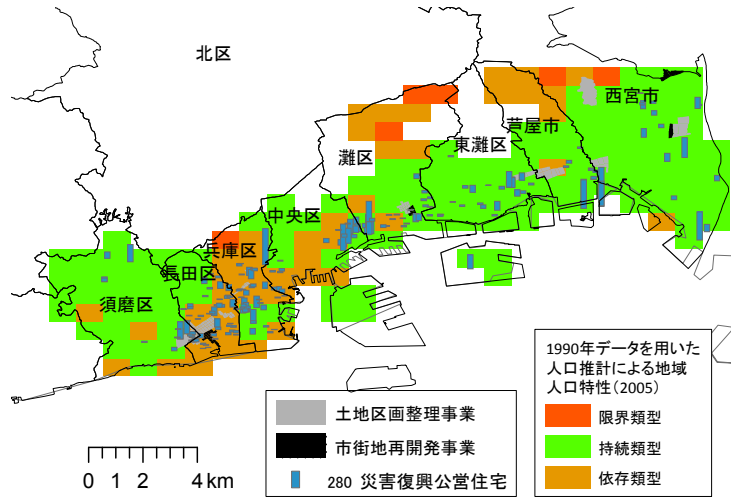
大学等の高等教育機関や就業先が無いいため20～30代前半が他地域へ流出する、後期高齢者の拡大といった要因により人口の増加が期待できず、衰退して行く可能性のある地域

限界 類型

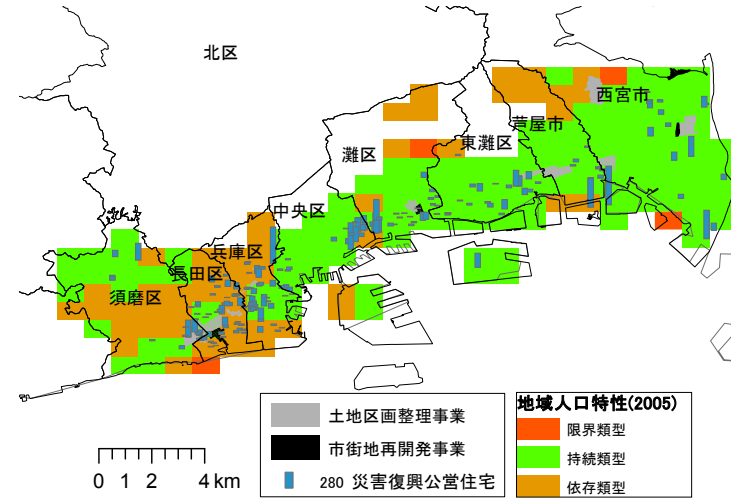


1925-30年生まれの世代が中心であり、高齢者以外の世代の地域外への流出が顕著で、地域の維持が困難になる可能性がある地域

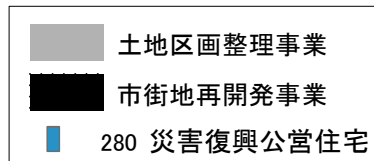
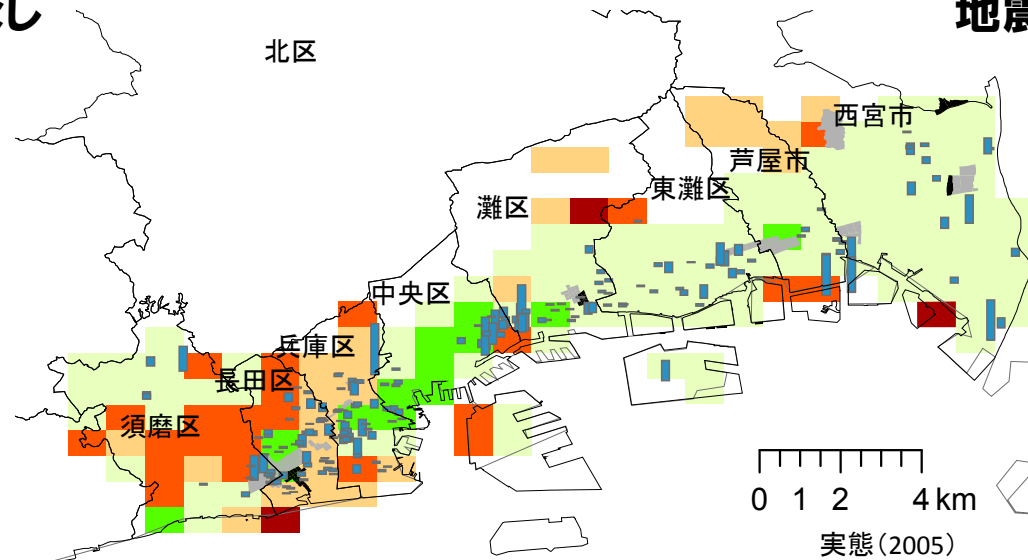
神戸の復興



地震なし

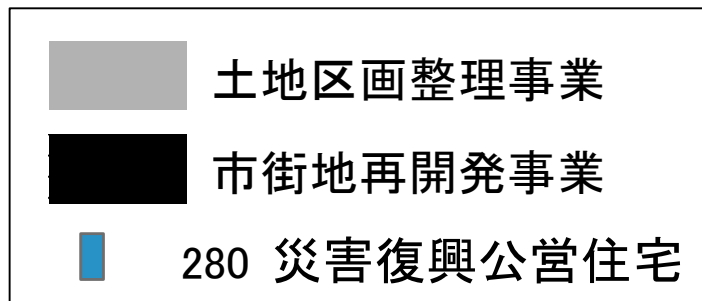
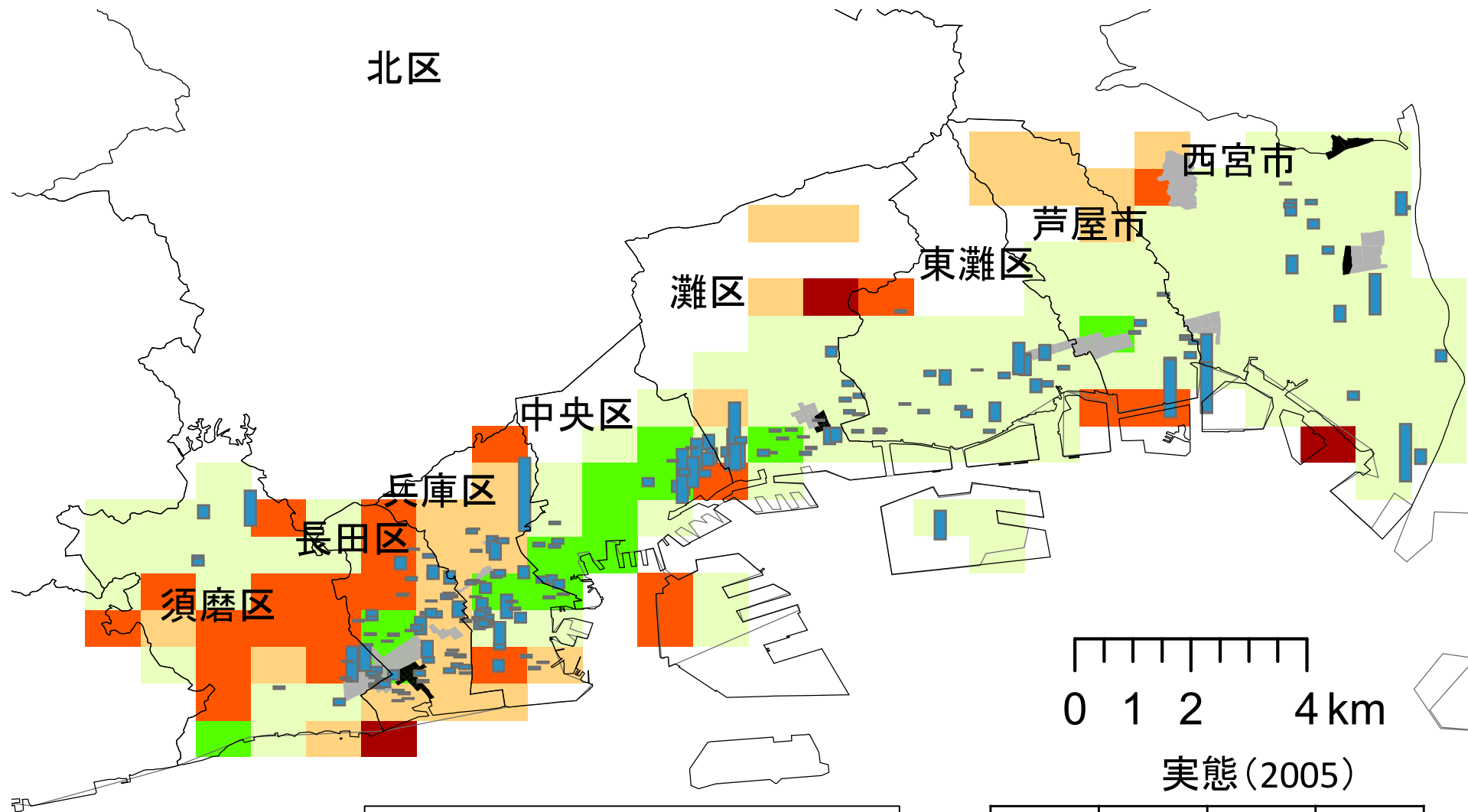







地震あり



推計

	持続	依存	限界
持続			
依存			
限界			

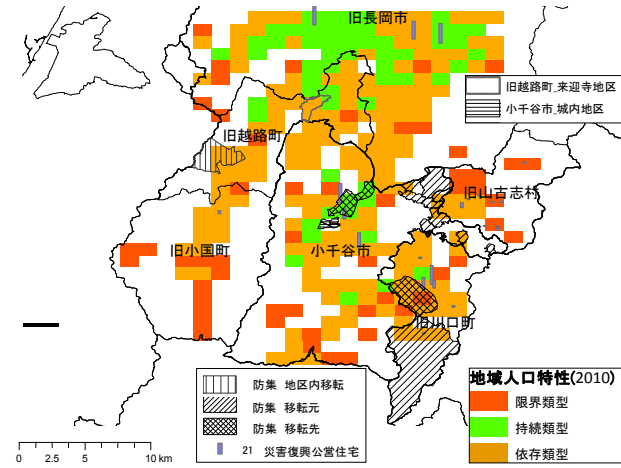
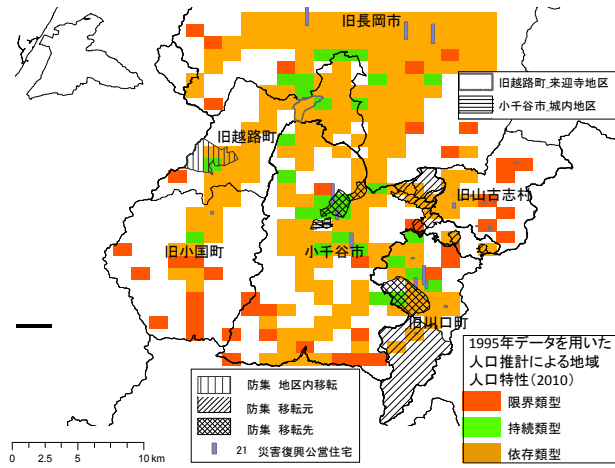


	持続	依存	限界
持続			
依存			
限界			

推計

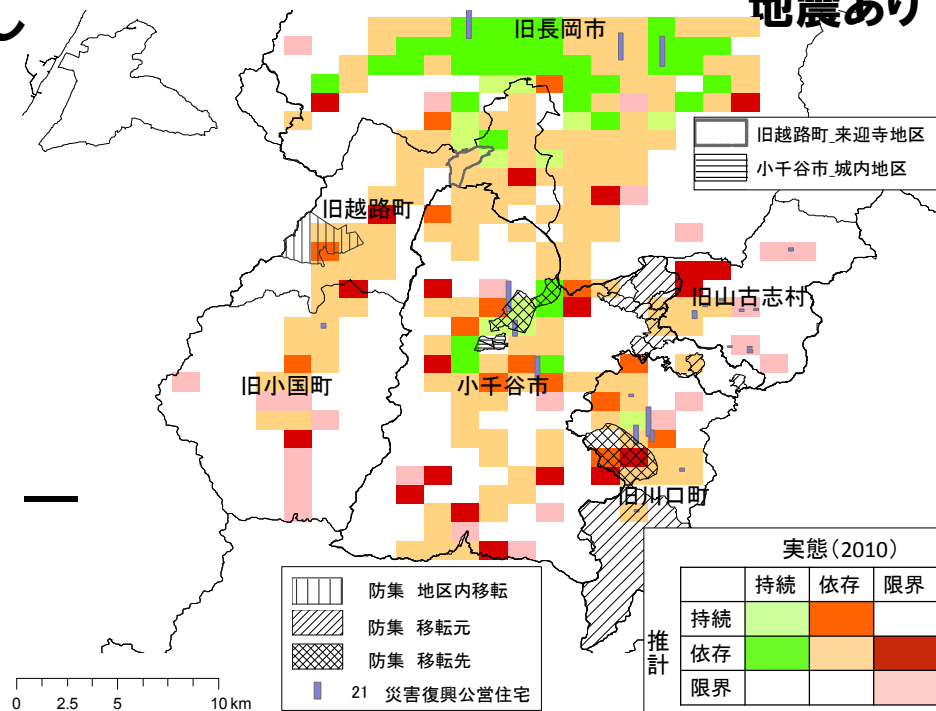
実態(2005)

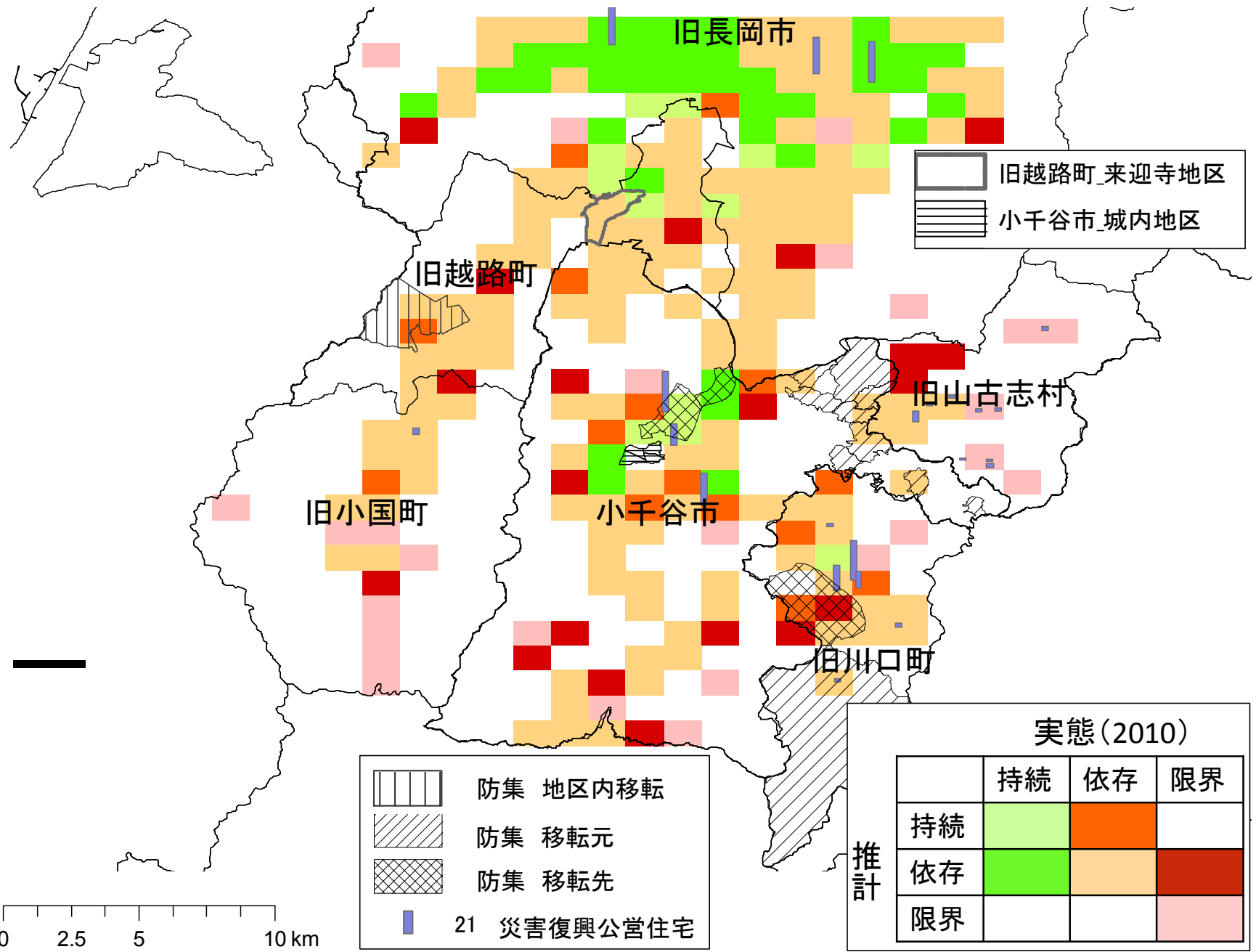
2004中越地震の復興






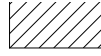
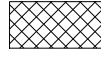

地震なし

地震あり














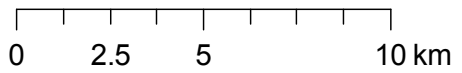
 旧越路町_来迎寺地区
 小千谷市_城内地区

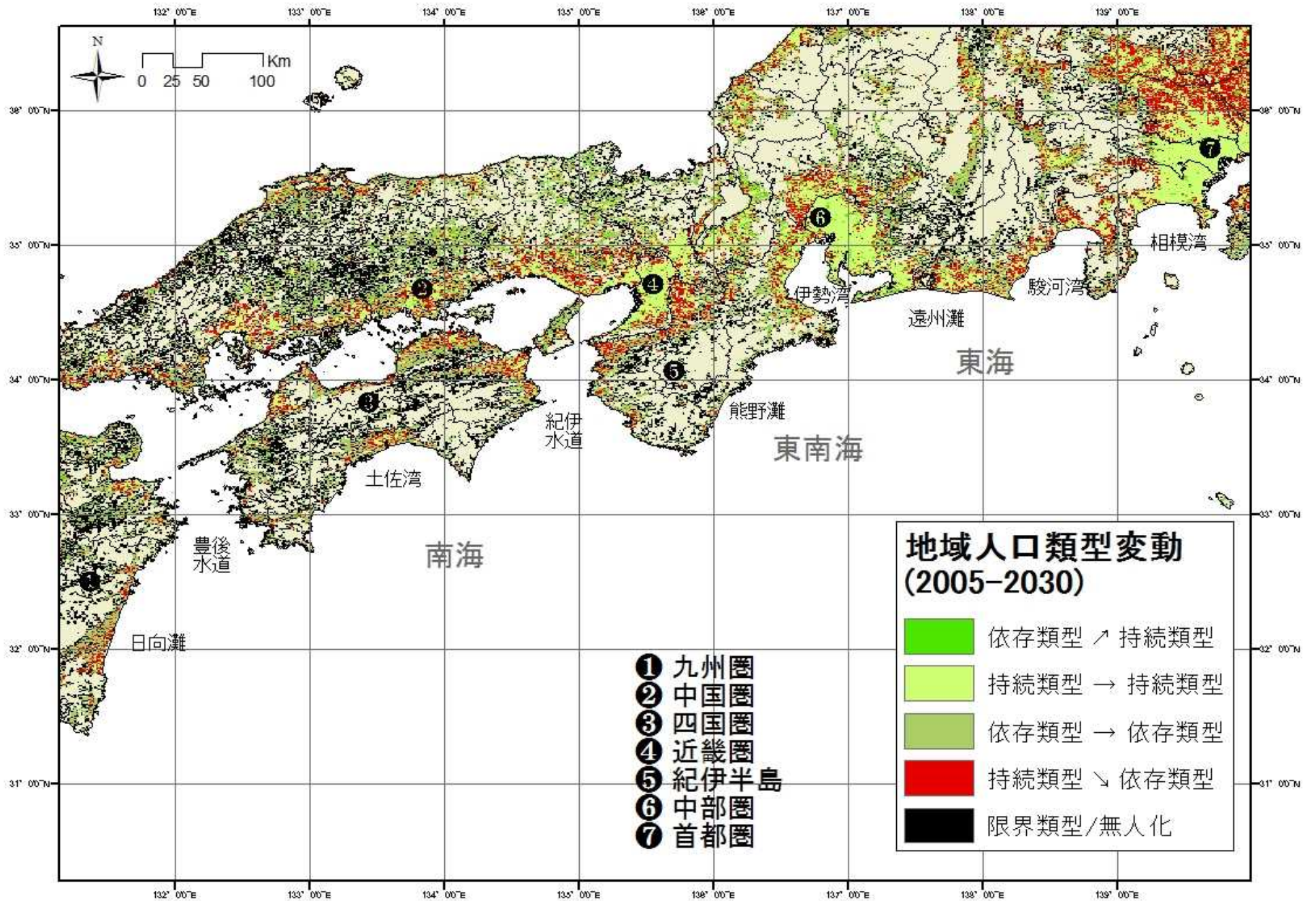
 防集 地区内移転
 防集 移転元
 防集 移転先
 21 災害復興公営住宅

実態(2010)

	持続	依存	限界
持続			
依存			
限界			

推計





地域類型の変化(2005-2030)

**被害が発生することを前提に
発災後の対応も考えることが必要**

緊急対応、応急対応、復旧・復興

生活再建過程

—10年以上の年月を必要とする—



東日本大震災の教訓

- **災害前からまちづくり活動をしていた地域は復興が早かった。**

事前復興計画策定

こんなまちにしたい



事前復興計画
このギャップを埋めるもの

現実
人口減少、地震

和歌山県(衣奈地区)での事前復興計画策定の取り組み

①こんなまちにしたい
＜衣奈の良さが残るまち
にぎわいのあるまち＞



③ギャップを埋める
対策
衣奈のまちづくり方針

②現実
(南海トラフ地震、人口減少…)

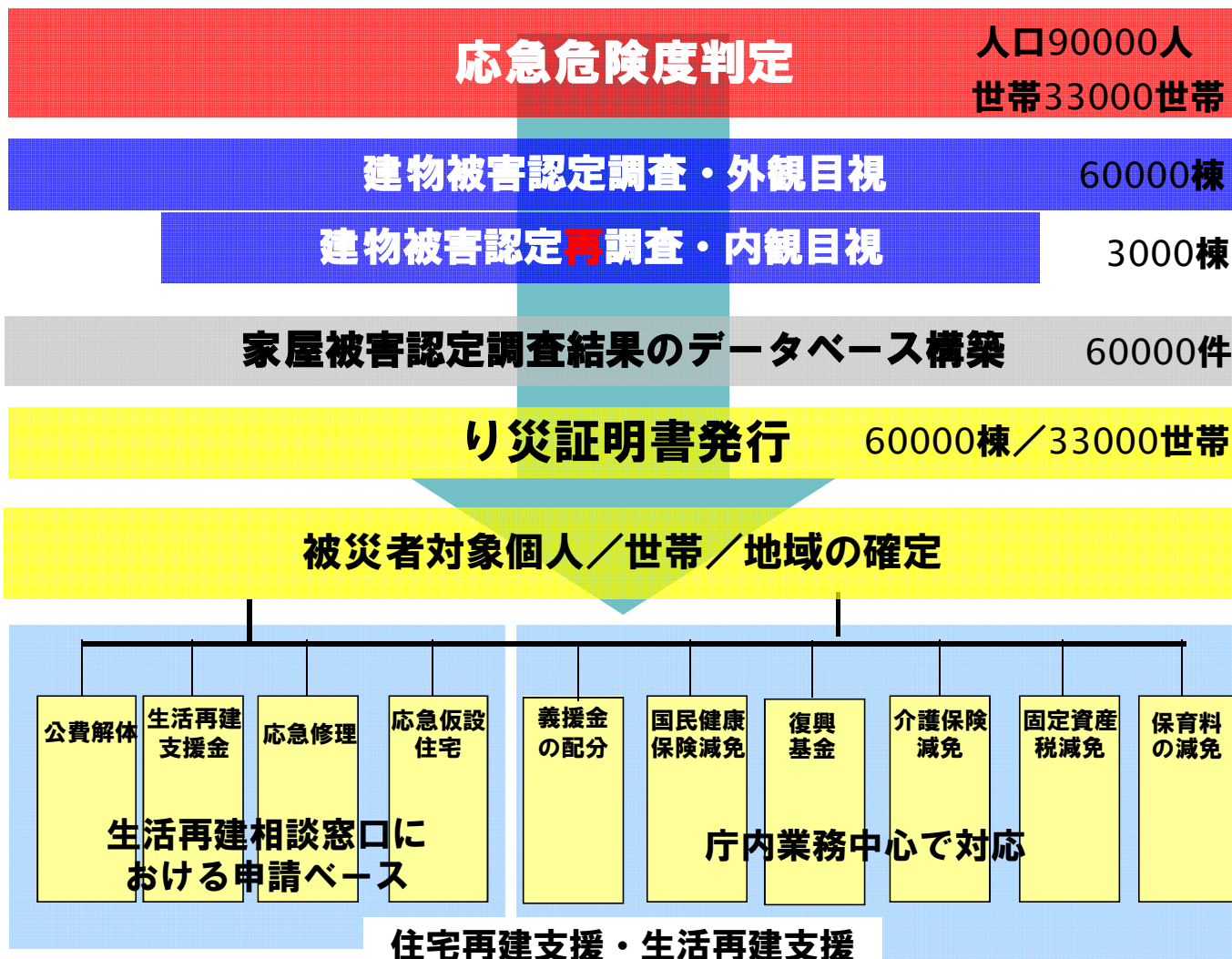
行政対応

やったことが無いから分からない

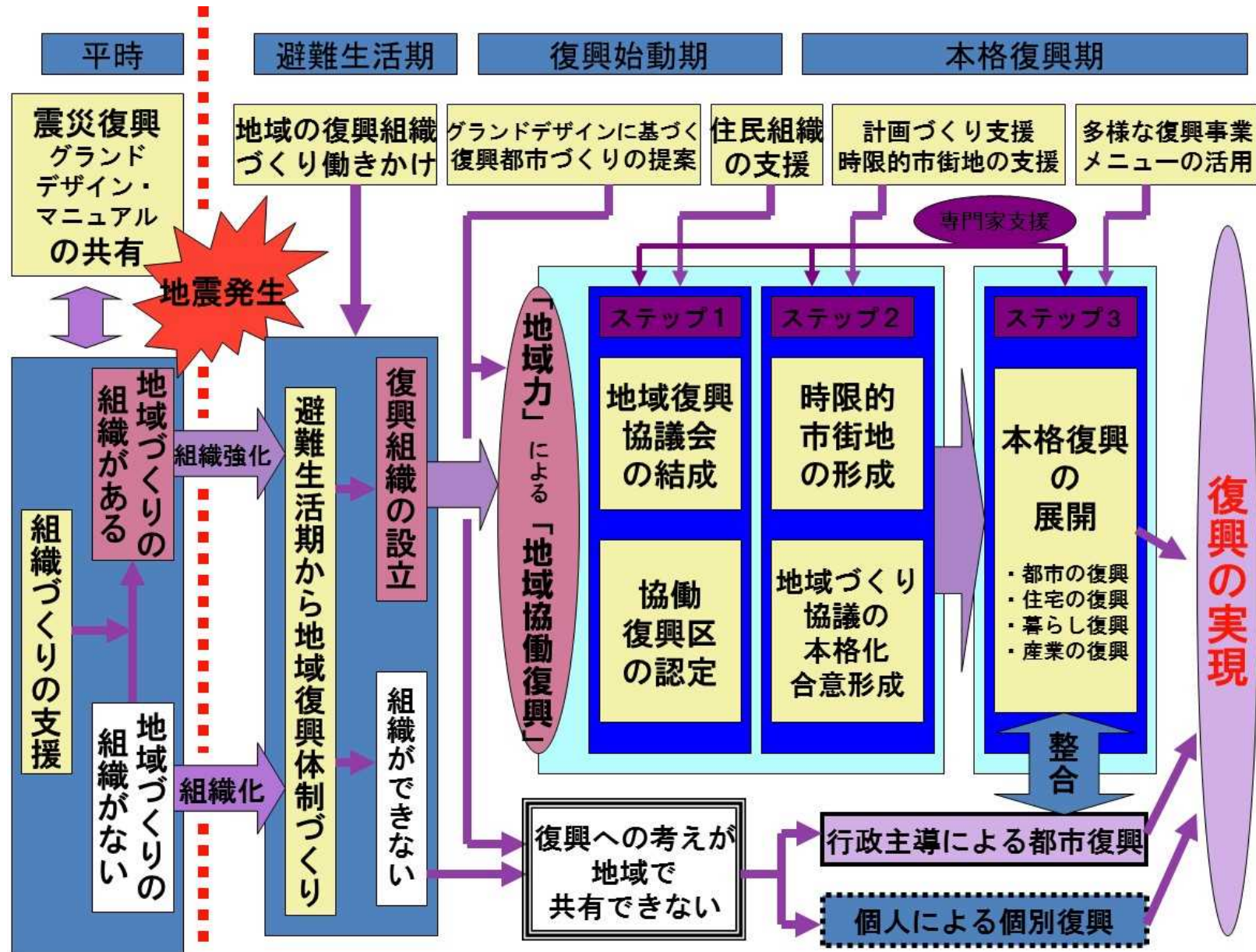
マニュアルの整備

(生活再建、都市再建、住宅再建)

災害時の被災者に対する生活再建支援



都市復興



出典: 東京都震災復興マニュアル